

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

熊本県地方独立行政法人くまもと県北病院 くまもと県北病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	32	対象	ド透	救 臨 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中稼病院	看護配置
-	34,122	-	第2種該当	7：1

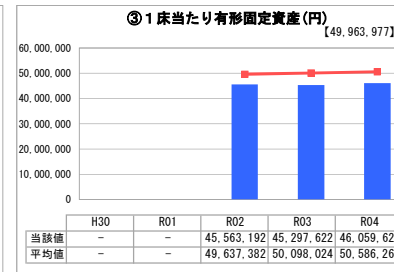
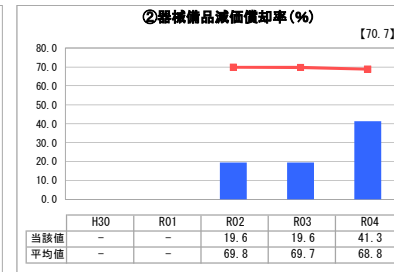
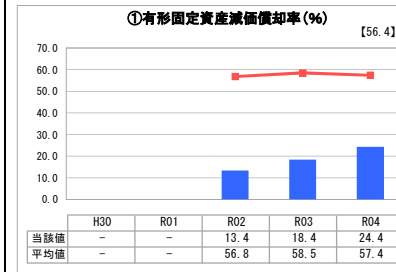
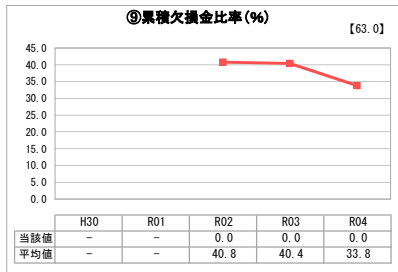
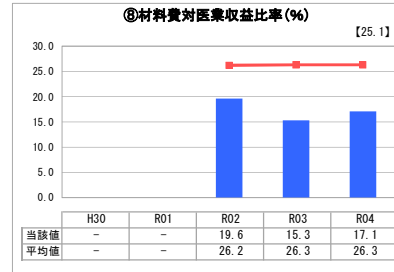
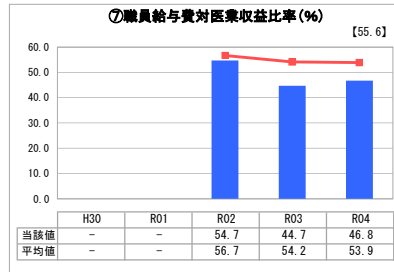
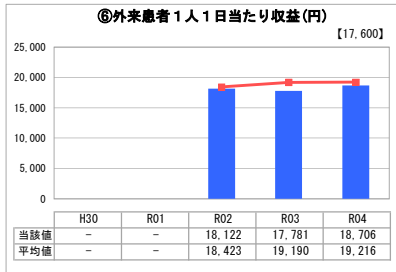
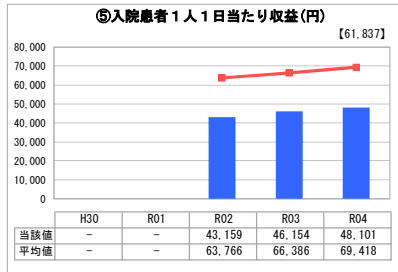
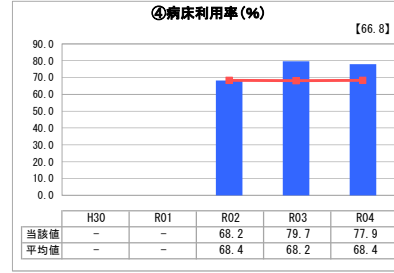
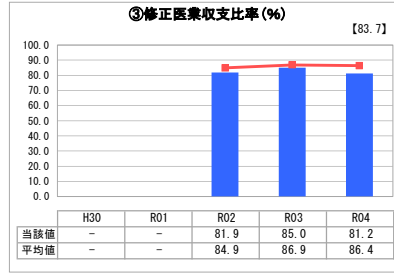
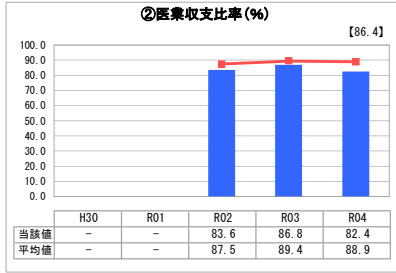
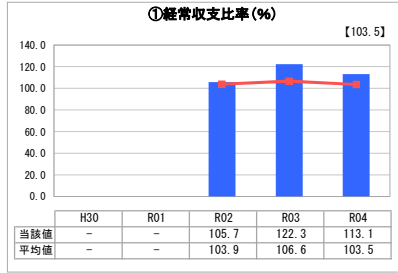
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
402	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	402
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
399	-	399

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	-	-

### I 地域において担っている役割

県北地域の救急医療を提供している。特に小児医療に関しては、24時間の診療体制を維持している。その他にも心カテや緊急手術も対応している。また、地域医療支援病院として、かかりつけ医からの紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援し、地域医療の確保を図る役割を担っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は平均値を上回っている。要因としてコロナ病床の病床確保に係る補助金の影響が大きい。医業収支比率と修正医業比率に関しては、平均を下回っている。病床利用率は平均を上回っていることや、入院単価や外来単価が平均より低いことから、単価の低い患者の在院日数が長いことが考えられる。平均在院日数を短くするなど、単価上昇への対策が必要である。病床の利用率を下げないように新規入院患者の増加も必須である。

#### 2. 老朽化の状況について

当院は令和3年3月に開院し、まだ新しい施設である。当面の間は大規模な改修等は発生しないが、医療機器更新や大規模修繕については、計画的に実施することとしている。

#### 全体総括

前年度同様、地域のかかりつけ医と協力し新型コロナ対応を実施し、職員の協力もあり、診療を止めることなく対応することができた。

地域の救急医療、小児医療に関しては、当院の果たすべき役割も大きいことから、現在の診療体制と病院機能を継続することは必要不可欠である。

経営に関しては、補助金に頼らない経営基盤の構築が求められる。そのため、入院基本料等の見直しや平均在院日数の短縮など病床単価増に直結する取り組みが当院の課題である。施設基準を満たすための医師や看護師等の人員確保も課題にあげられる。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。